NEWSLETTER　とらや

虎屋 京都ギャラリー第23回企画展

2021年9月吉日

虎屋所蔵品展　めでたい寅年　愛でたい虎

2021年10月30日（土）～12月5日（日）

於：虎屋 京都ギャラリー（虎屋菓寮 京都一条店横）

2022年、12年に一度の寅年を迎えるにあたり、虎を題材にした所蔵品をご紹介。津田青楓が描いた勢いのある「虎合戦図」、富岡鉄斎による「狂虎之図」といった絵画のほか、香合や茶碗、菓子器や郷土玩具にいたるまで、個性豊かな“愛でたい虎”をお楽しみください。

「狂虎之図」
富岡鉄斎

（中上）「虎置物」（中下）「笹虎高台寺蒔絵炉縁」
永楽善五郎（十六代）　中村宗哲（九代）

「虎合戦図」
津田青楓

●虎屋と虎

虎屋の屋号の由来は諸説ありますが、代々店主を務める黒川家が信仰する毘沙門天（びしゃもんてん）と虎の縁が深いためとも伝わります。江戸時代の金蒔絵の豪華な井籠（せいろう）（菓子を運ぶ容器）から、現在も杉箱入の羊羹に使う富岡鉄斎原画の掛紙まで、さまざまなものに虎が取り入れられています。

●愛でたい虎づくし

津田青楓が94歳にして画面いっぱいに描いた躍動感あふれる「虎合戦図」、丁寧に描き込まれた毛並みが美しい富岡鉄斎の「狂虎之図」のほか、永楽善五郎の愛嬌ある置物や塗師（ぬし）中村宗哲が金蒔絵を施した炉縁（ろえん）など、多種多様な作品で“虎づくし”をお楽しみいただけます。

●“虎合戦”に仲間入り！？

「虎合戦図」の虎たちと一緒に撮影していただけるコーナーをご用意。まるで駆け回る虎たちに囲まれたような構図で、寅年の新年のご挨拶にもご活用いただけます。

このほか、各地の張子をはじめとした郷土玩具や虎に縁のある京都の寺社などもご紹介します。

「竹虎蒔絵井籠」

「虎絵赤楽茶碗」楽吉左衛門(十二代)

【展示概要】

虎屋 京都ギャラリー第23回企画展

虎屋所蔵品展　めでたい寅年　愛でたい虎

期　間：2021年10月30日(土)～12月5日(日)　午前10時～午後5時
休館日11月29日（月）　入場無料

場　所：虎屋 京都ギャラリー（虎屋菓寮 京都一条店横）
地下鉄今出川駅6番出口より徒歩約7分

展示品:「虎合戦図」 津田青楓、「狂虎之図」 富岡鉄斎、「虎図」 鹿子木孟郎、
「虎字」 橋本独山、「虎之図」西沢笛畝
「虎置物」 永楽善五郎(十六代)、「笹虎高台寺蒔絵炉縁」 中村宗哲(九代)、
「紫銅エフコ建水竹虎ノ彫」 中川浄益　など

※隣接の虎屋菓寮 京都一条店や、とらや 京都一条店をはじめ全店にて、来る寅年にちなんだ商品をご用意いたします。 販売期間: 2021年11月14日(日)～

※新型コロナウイルス感染症予防措置を講じたうえで開催いたします。ご来場の際は、マスクの着用、手指の消毒、検温等のご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 開催を変更・中止する場合がございます。
予めご了承ください。

≪本件に関するお問い合わせ≫
株式会社 虎屋 京都店 文化事業担当　京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町400
担当：高木
電話：075-431-4736 Fax：075-431-1063 E-mail：kyotobunka@toraya-group.co.jp